

「ペムブロリズマブ使用例における免疫関連有害事象と有効性の検討」について

当センターでは、下記のとおり¹の臨床研究（学術研究）を実施しています。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守いたします。

なお、あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究課題名

ペムブロリズマブ使用例における免疫関連有害事象と有効性の検討

2. 研究の対象および研究対象期間

2017年2月より2019年8月までの間に当院でペムブロリズマブ単剤での治療を受けられた非小細胞肺癌の方

2. 研究目的・方法

ペムブロリズマブ単剤での治療を受けられた方で、免疫関連有害事象を発症された方と発症されなかった方でその効果について違いがないかについて比較検討を行います。

2017年2月より2019年8月までの間に当院でペムブロリズマブ単剤での治療を受けられた非小細胞肺癌の方を対象にカルテ情報から後ろ向きに調査を行います。

研究期間

2019年9月1日～2019年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、喫煙歴、組織型、病期、PD-L1発現率、治療内容、副作用の発生状況

4. お問い合わせ先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器内科

研究担当医師 野口 進

連絡先 073-422-4171（代表）（平日：9時00分～17時30分）